令和2年産 コシヒカリ特栽米栽培ごよみ

JAふくおか嘉穂本所営農センター ☎24-7093
JAふくおか嘉穂嘉麻営農センター ☎57-4000
飯塚普及指導センター ☎23-4154

月	3			4			5			6			7			8			9	
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
生育期間	は種の準備	は種	育苗			田植	活着期間	有効分けつ期			無効分けつ期	幼穂形成期			出穂期	登熟期間		成熟期	収穫適期（黄褐色籾70～80%）	
水管理						浅水管理			間断灌水	中干し		間断灌水			浅水管理	間断灌水		落水（走り水）		
主な作業	温湯消毒			田植（4/25） 箱施薬 代かき 基肥の施用			除草剤処理	溝切り		中干し（乾燥が続く時は、通し水をする。中干しを開始する。田植後40日目頃から軽く）		穂肥（出穂前20日）		出穂期 穂揃期防除（カメムシ）		※落水時期 1.収穫一週間前くらいに落水をする。（水管理を十分にしておかないと遅くまで落水期をのばすことはできない） 2.コシヒカリは、遅くまで登熟するので落水は遅らせた方がよい。		収穫	収穫早限 黄褐色籾比率70% 籾水分28% 収穫晩限 黄褐色籾比率80% 籾水分24% 適期収穫に努めましょう	

○病害虫、雑草防除基準

赤とんぼA（無農薬）

体系	箱施薬				除草剤			中期除草剤				穂揃期防除			
	名称	使用量	使用時期	対象病害虫	名称	10a当たり使用量	使用時期	名称	10a当たり使用量	対象雑草	使用時期	名称	10a当たり使用量	使用時期	対象病害虫
赤とんぼA	使用しない														

赤とんぼB（農薬成分数：4）

（次のいずれか1つを選択）　（赤とんぼBでは中期除草剤は使用できません）　（次のいずれか1つを選択）

体系	箱施薬				除草剤			中期除草剤				穂揃期防除			
	名称	使用量	使用時期	対象病害虫	名称	使用量	使用時期	名称	10a当たり使用量	対象雑草	使用時期	名称	10a当たり使用量	使用時期	対象病害虫
JAふくおか嘉穂育苗センター購入苗	使用しない				キマリテ1キロ粒剤	1kg	田植時～10日（ノビエ3.0葉期まで）※田植同時処理可	使用しない				キラップ粉剤DL	3～4kg	収穫14日前まで	カメムシ類・ウンカ類
					ガンガン1キロ粒剤							キラップ粒剤	3kg		
					キマリテフロアブル	500mℓ						キラップフロアブル	希釈倍率1,000～2,000倍（希釈水量60～200ℓ）		
					キマリテジャンボ	10パック	田植直後～10日（ノビエ3.0葉期まで）					スタークル豆つぶ	250g	収穫7日前まで	
					ガンガン豆つぶ250	250g	田植後3日～8日（ノビエ2.5葉期まで）					ヘリ防除（キラップフロアブル）		収穫14日前まで	
自家育苗	プリンス粒剤	1箱当たり50g	は種時（覆土前）～移植当日	イネミズゾウムシ、ウンカ類、ニカメイチュウ、コブノメイガ等	キマリテ1キロ粒剤	1kg	田植時～10日（ノビエ3.0葉期まで）※田植同時処理可	使用しない				キラップ粉剤DL	3～4kg	収穫14日前まで	カメムシ類・ウンカ類
					ガンガン1キロ粒剤							キラップ粒剤	3kg		
					キマリテフロアブル	500mℓ						キラップフロアブル	希釈倍率1,000～2,000倍（希釈水量60～200ℓ）		
					キマリテジャンボ	10パック	田植直後～10日（ノビエ3.0葉期まで）					スタークル豆つぶ	250g	収穫7日前まで	
					ガンガン豆つぶ250	250g	田植後3日～8日（ノビエ2.5葉期まで）					ヘリ防除（キラップフロアブル）		収穫14日前まで	

※自家育苗の箱施薬は「プリンス粒剤」しか使用できません。

県認証米（農薬成分：7）

（次のいずれか1つを選択）　（必要に応じて次のいずれか2つまで散布できます。（※クリンチャーバスまたはワイドショットを散布する場合は、他の剤は使用できません。））　（次のいずれか1つを選択）

体系	箱施薬				除草剤			中期除草剤・防除				穂揃期防除			
	名称	使用量	使用時期	対象病害虫	名称	使用量	使用時期	名称	10a当たり使用量	対象雑草・病気	使用時期	名称	10a当たり使用量	使用時期	対象病害虫
県認証米基準	ツインターボ箱粒剤08	1箱当たり50g	は種時（覆土前）～移植当日	いもち病、イネミズゾウムシ、ウンカ類、	キマリテ1キロ粒剤	1kg	田植時～10日（ノビエ3.0葉期まで）※田植同時処理可	クリンチャーバスME液剤	1000mℓ（希釈水量70～100ℓ）	ノビエ、広葉雑草、カヤツリグサ、ホタルイ	田植後15日～ノビエ5葉期但し収穫50日前まで	キラップ粉剤DL	3～4kg	収穫14日前まで	カメムシ類・ウンカ類
								ワイドショット1キロ粒剤	1kg		田植後15日～ノビエ4葉期但し収穫45日前まで				
					ガンガン1キロ粒剤			バサグラン液剤（ナトリウム塩）	500～700mℓ（希釈水量70～100ℓ）	広葉雑草、カヤツリグサ、ホタルイ	田植後15～55日、但し収穫50日前まで	キラップ粒剤	3kg		
								バサグラン粒剤（ナトリウム塩）	3～4kg		田植後15～55日、但し収穫60日前まで				
					キマリテフロアブル	500mℓ		クリンチャーEW	100mℓ（希釈水量25～100ℓ）	ノビエ	田植後20日～ノビエ6葉期まで、但し収穫30日前まで	キラップフロアブル	希釈倍率1,000～2,000倍（希釈水量60～200ℓ）		
								クリンチャー1キロ粒剤	1kg		田植後7日～ノビエ4葉期まで、但し収穫30日前まで				
					キマリテジャンボ	10パック	田植直後～10日（ノビエ3.0葉期まで）	モゲトン粒剤	2～3kg	藻類	藻類の発生始～発生盛期但し、収穫45日前まで	スタークル豆つぶ	250g	収穫7日前まで	
								ゴウケツ1キロ粒剤	1kg	いもち病	出穂5日前まで（収穫30日前まで）				
					ガンガン豆つぶ250	250g	田植後3日～8日（ノビエ2.5葉期まで）	ゴウケツパック	10パック			ヘリ防除（キラップフロアブル）		収穫14日前まで	
								コラトップ豆つぶ	250g		穂いもちに対して出穂30日前～5日前まで				

※県認証米の箱施薬は、「ツインターボ箱粒剤08」しか使用できません。

施肥基準

（kg/10a）

地帯	肥料名	基肥	穂肥	成分量 N	成分量 P	成分量 K
平坦地	福岡嘉穂ユーキくん2号	35	―	5.7（4.7）	2.2（2.05）	2.95（3.6）
	（ニューフレーバーペースト846）	（40）	―			
	福岡嘉穂ユーキくん3号	―	15			
	有機エムコート256（基肥1回）	50	―	6.0	2.5	3.0
中山間地・ろく山	福岡嘉穂ユーキくん2号	30	―	5.1（4.3）	1.95（1.85）	2.7（3.3）
	（ニューフレーバーペースト846）	（35）	―			
	福岡嘉穂ユーキくん3号	―	15			
	有機エムコート256（基肥1回）	45	―	5.4	2.25	2.7

稲わらの全量還元・土壌改良資材の施用

10a当たり、ケイカル・ミネラルG・珪鉄のいずれかを160kg散布、または、とれ太郎を60kg散布。

斑点米カメムシ類対策

出穂10日前までに、カメムシ類の居場所となる畦畔・草ムラの除草を徹底して、圃場への侵入をふせぎましょう。

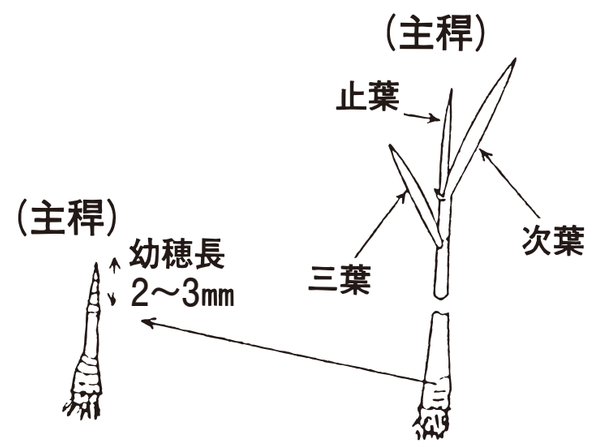
ミナミアオカメムシ

特栽米の条件

※こよみに記載している肥料・農薬等しか使用できません。
※他の肥料・農薬等を使用した場合は、必ず報告をお願いします（特栽米より除外します）。

穂肥の診断

穂肥時の稲姿と幼穂長（出穂前20日）



・フルイ目 1.85mm
・タンパク含有率 6.8%以下
・種子更新率 100%
・玄米水分 14.5～15.0%
・等級 1・2等
・入れ目 1%以上（30.6kg）
・栽培履歴（必須）

・穂肥は葉色をみて量を加減する。
・穂肥は出穂前20日（幼穂長2～3㎜）頃使用する。

肥料・農薬・生産資材の購入はＪＡから!!
生産履歴は必ず記帳しましょう。

農薬は、散布前に必ず農薬ラベルを確認し、散布時には、天候に注意し、他の作物にかからないように散布しましょう。
この栽培暦はＪＡ米の生産基準を兼ねています。要件を満たさない米穀は区分してＪＡに出荷しましょう。

JAふくおか嘉穂本所グリーンセンター ☎24-4200
JAふくおか嘉穂南部グリーンセンター ☎57-3915

令和元年12月作成